



A Global Supplier for Global Society

2019年3月期第2四半期

# 決算説明会

---

株式会社JSP

2

# 経営方針

JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

*Deliver with*  
**wow!**

1. **2019年3月期第2四半期決算概要（2018年度上期）**
2. 2019年3月期決算見通し（2018年度見通し）
3. 2019年3月期第2四半期決算補足（2018年度上期補足）

## Growth

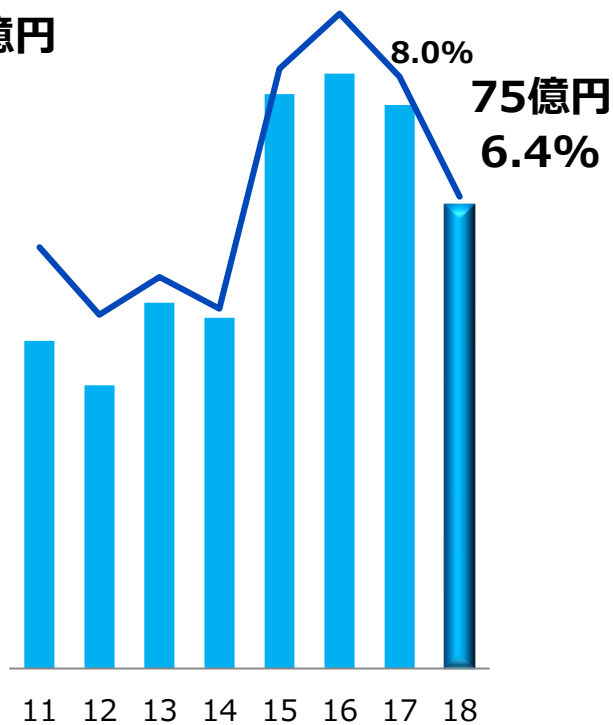
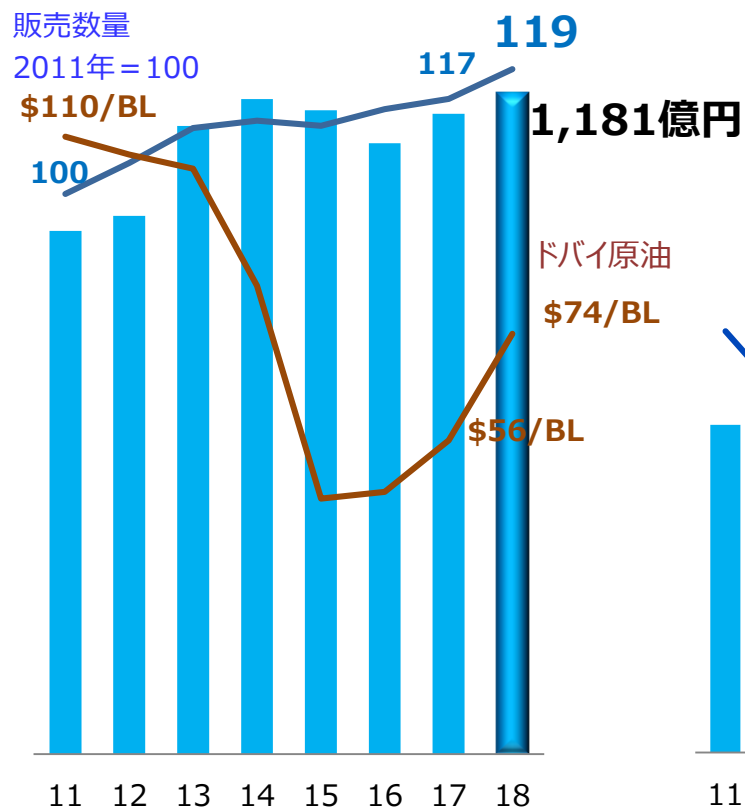
売上高・販売数量

## Margin

営業利益・営業利益率

## Return

総資産経常利益率



項目 (単位：百万円)	2017年度上期 実績	2018年度上期 公表 (2018/7/27)	2018年度上期 実績	前年 同期比	公表比
売上高	56,815	58,000	<b>57,450</b>	+1.1%	△0.9%
営業利益	4,973	3,300	<b>2,801</b>	△43.7%	△15.1%
経常利益	4,959	3,400	<b>2,999</b>	△39.5%	△11.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,595	2,600	<b>2,350</b>	△34.6%	△9.6%

- 為替：18年度上期108.5円/US\$ 130.7円/€ (17年度上期 112.1円/US\$ 122.2円/€)
  - 原油価格(ドバイ)：18年度上期US\$73.0/バーレル (17年度上期 US\$50.2/バーレル)
  - 経済状況：米国/減税効果による個人消費拡大継続、メキシコ/堅調、ブラジル/回復基調、欧州/成長ペースは鈍化、アジア/中国を中心に経済成長は堅調に推移、日本/風水害・地震の影響あり
- 売上高：付加価値の高い製品の増加や製品価格改定により前年同期比1.1%増  
 営業利益：製品価格改定の遅れ等により前年同期比43.7%減

項目 (単位：百万円)	2017年度上期 実績*	2018年度上期 実績	前年同期比
売上高	19,729	<b>20,054</b>	+1.6%
営業利益	1,283	<b>1,150</b>	△10.3%

## 高付加価値製品販売増で売上増、食品包材数量減で利益減少

### 食品包材・容器



「スチレンペーパー」  
「ミラボード」

- 食品トレー向け分野や販売広告宣伝用ディスプレイ材の販売減少

### 産業用包装材



「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」

- 高付加価値製品の需要拡大で売上増加

### 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」

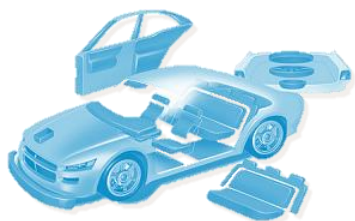
- 割付断裁品、高断熱製品及び土木資材の販売好調

\* 一部子会社の管理区分の変更を行っており、当該変更を反映した数値に変更しております。

項目 (単位：百万円)	2017年度上期 実績*	2018年度上期 実績	前年同期比
売上高	34,345	34,286	△0.2%
営業利益	4,067	2,028	△50.1%

韓国の販売減少などにより売上減、原燃料価格上昇により利益減

### 自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ピーブロック」  
英名「ARPRO」  
「エレンポールNEO」



- 自動車の新規部品採用拡大・用途拡大で売上増加
- 日本：風水害・地震等の影響あり
- 北米・南米・欧州：販売は堅調、原料高
- アジア：好調に推移、韓国は低調

### 発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロダイア」  
「ヒートポールGR」  
「クリアポール」  
「スーパーブロー」

- 「スチロダイア」家電分野・機能性ビーズ製品は好調
- 「スーパーブロー」需要減で売上減少

\* 一部子会社の管理区分の変更を行っており、当該変更を反映した数値に変更しております。

項目 (単位：百万円)	2017年度上期 実績	2018年度上期 実績	前年同期比
売上高	2,739	3,109	+13.5%
営業利益	59	64	+7.4%

## 国内：堅調、中国：自動車・光学関連需要獲得

## 国内一般包材

- 自動車部品関連等、全般的に堅調で売上増加



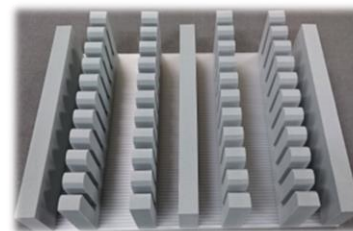
自動車部品トレイ



情報家電緩衝材

## 中国一般包材

- 自動車、光学部品関連の需要獲得で売上増加



自動車部品搬送材



光学部品緩衝材



1. 2019年3月期第2四半期決算概要（2018年度上期）
- 2. 2019年3月期決算見通し（2018年度見通し）**
3. 2019年3月期第2四半期決算補足（2018年度上期補足）

項目 (単位：百万円)	2017年度	2018年度			前年比
	通期実績	上期実績	下期見通し	通期見通し (公表値)	
売上高	114,284	57,450	60,650	<b>118,100</b>	+3.3%
営業利益	9,105	2,801	4,699	<b>7,500</b>	△17.6%
経常利益	9,217	2,999	4,701	<b>7,700</b>	△16.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,853	2,350	3,150	<b>5,500</b>	△19.8%

- 為替レート： 米ドル 110.2円/US\$（上期108.5円/US\$ 下期111.9円/US\$）  
ユーロ 130.5円/€（上期130.7円/€ 下期130.3円/€）
- 原油価格(ドバイ)：US\$74.0/バーレル（上期US\$73.0/バーレル 下期US\$75.0/バーレル）
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間 50円（中間25円、期末25円（予想））

項目 (単位：百万円)	事業の種類	2018年度 对外公表 (2018/4/27)	2018年度 通期見通し (2018/10/26)	差異
売上高	押出事業	42,161	<b>41,173</b>	△988
	ビーズ事業	71,934	<b>70,899</b>	△1,035
	その他	5,905	<b>6,028</b>	123
	合計	120,000	<b>118,100</b>	△1,900
営業利益	押出事業	2,935	<b>2,672</b>	△263
	ビーズ事業	7,359	<b>5,539</b>	△1,820
	その他	132	<b>134</b>	+2
	全社及び控除	△926	△ <b>845</b>	+81
	合計	9,500	<b>7,500</b>	△2,000

項目 (単位：百万円)	2017年度	2018年度			前年比
	通期実績*	上期実績	下期見通し	通期見通し	
売上高	40,428	20,054	21,119	41,173	+1.8%
営業利益	2,692	1,150	1,522	2,672	△0.7%

## 高付加価値製品の販売に注力、製品の差異化を推進

## 食品包材・容器



「耐熱PSP」



「ミラボード」

- 耐熱食品容器の拡販
- 機能性食品容器の拡販

## 産業用包装材

「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」

- 液晶TV基板輸送緩衝材の拡販
- 海外市場での販売を強化
- 差異化製品による新市場開拓

## 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」 「Jウォールブロック」



- 高断熱性能ミラフォームの拡販
- Jウォールブロックの拡販
- 高断熱化技術の研鑽

\*一部子会社の管理区分の変更を行っており、当該変更を簡便的に反映させた数値に変更しております。期末監査により変更となる可能性があります。

項目 (単位：百万円)	2017年度	2018年度			前年比
	通期実績*	上期実績	下期見通し	通期見通し	
売上高	68,079	34,286	36,613	70,899	+4.1%
営業利益	7,167	2,028	3,511	5,539	△22.7%

## EPP 地域別販売戦略の推進、EPS 機能性製品の拡販

自動車部品・家電緩衝材・スポーツシューズ



「ピーブロック」



「エレンポールNEO」

- 自動車の新規部品の採用拡大（シート等）
- 液晶TV基板輸送用緩衝材拡販

発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロディア」



「クリアポール」



「ヒートポールGR」

- 機能性の高い製品の比率アップ
- スプレッドの維持・拡大

\* 一部子会社の管理区分の変更を行っており、当該変更を簡便的に反映させた数値に変更しております。期末監査により変更となる可能性があります。

## ● 成長戦略の推進

成長戦略では「事業領域の拡大」を含む4つの成長エンジンに経営資源を集中するなど、選択と集中による経営の効率化を推進すると共に、攻めと守りのバランスによる安定した持続的な成長を目指します。

## 4つの成長エンジン



## ● 自動車部品

2017年度数量比

**27%増**軽量化を追い風  
シートコア材需要増**4%増**

## ● 建築住宅断熱材

2017年度数量比

**18%増**2020年省エネ基準義務化  
高断熱材ミラフォーム**5%増**

## ● FPD関連保護材

2017年度数量比

**15%増**TVの大画面化  
LCDパネル  
有機ELパネル**8%増**

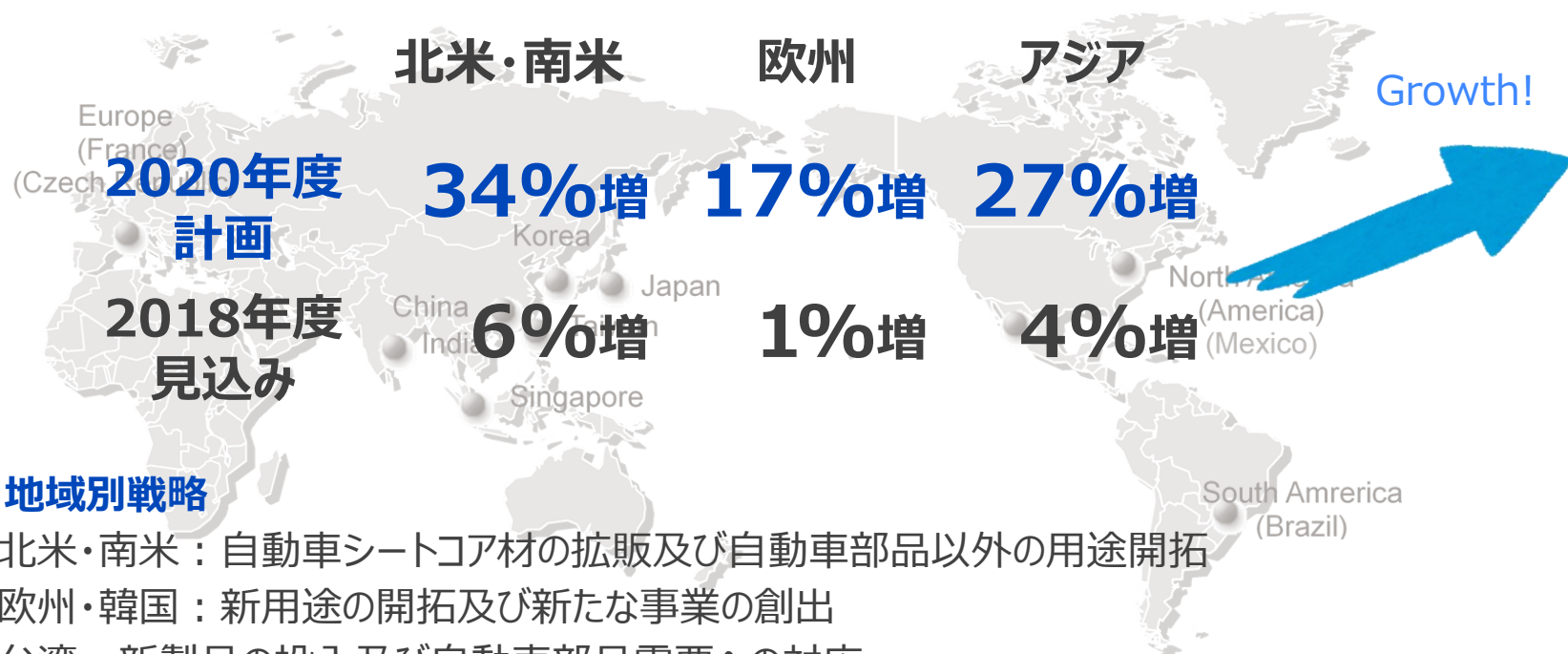
## ● 新たな事業領域

新規事業（2020年度計画）

**30億円**有望テーマ絞り込み  
M & A推進体制整備**体制整備**

（2018年度見込み）

中期経営計画（2020年度） 2017年度比 **約27%**の販売数量増加を見込む  
「ピーブロック（英名ARPRO）」



### ● 地域別戦略

- ✓北米・南米：自動車シートコア材の拡販及び自動車部品以外の用途開拓
- ✓欧州・韓国：新用途の開拓及び新たな事業の創出
- ✓台湾：新製品の投入及び自動車部品需要への対応
- ✓中国：将来の市場拡大を見据えた拠点拡大及び物流資材用途の展開
- ✓タイ王国：成長著しいアセアン地域でのシェア拡大
- ✓インド：生産拠点進出のタイミング、規模等を見定める

1. 2019年3月期第2四半期決算概要（2018年度上期）
2. 2019年3月期決算見通し（2018年度見通し）
- 3. 2019年3月期第2四半期決算補足（2018年度上期補足）**



(%は表示は対前期増減率)

年度 (単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
2018年度上期	57,450 (+1.1%)	2,801 (△43.7%)	2,999 (△39.5%)	2,350 (△34.6%)
2017年度上期	56,815 (+4.1%)	4,973 (△0.5%)	4,959 (△1.4%)	3,595 (△5.9%)

包括利益 : 2018年度上期 195百万円 2017年度上期 3,800百万円

年度	1株当たり 四半期純利益	売上高 営業利益率
2018年度上期	78円86銭	4.9%
2017年度上期	120円62銭	8.8%

【主要な日本円への換算レート(1~6月)】

通貨	US\$	€	RMB
2018年度 上期	108.5	130.7	17.0
2017年度 上期	112.1	122.2	16.3
前期比	96.8%	106.9%	104.0%

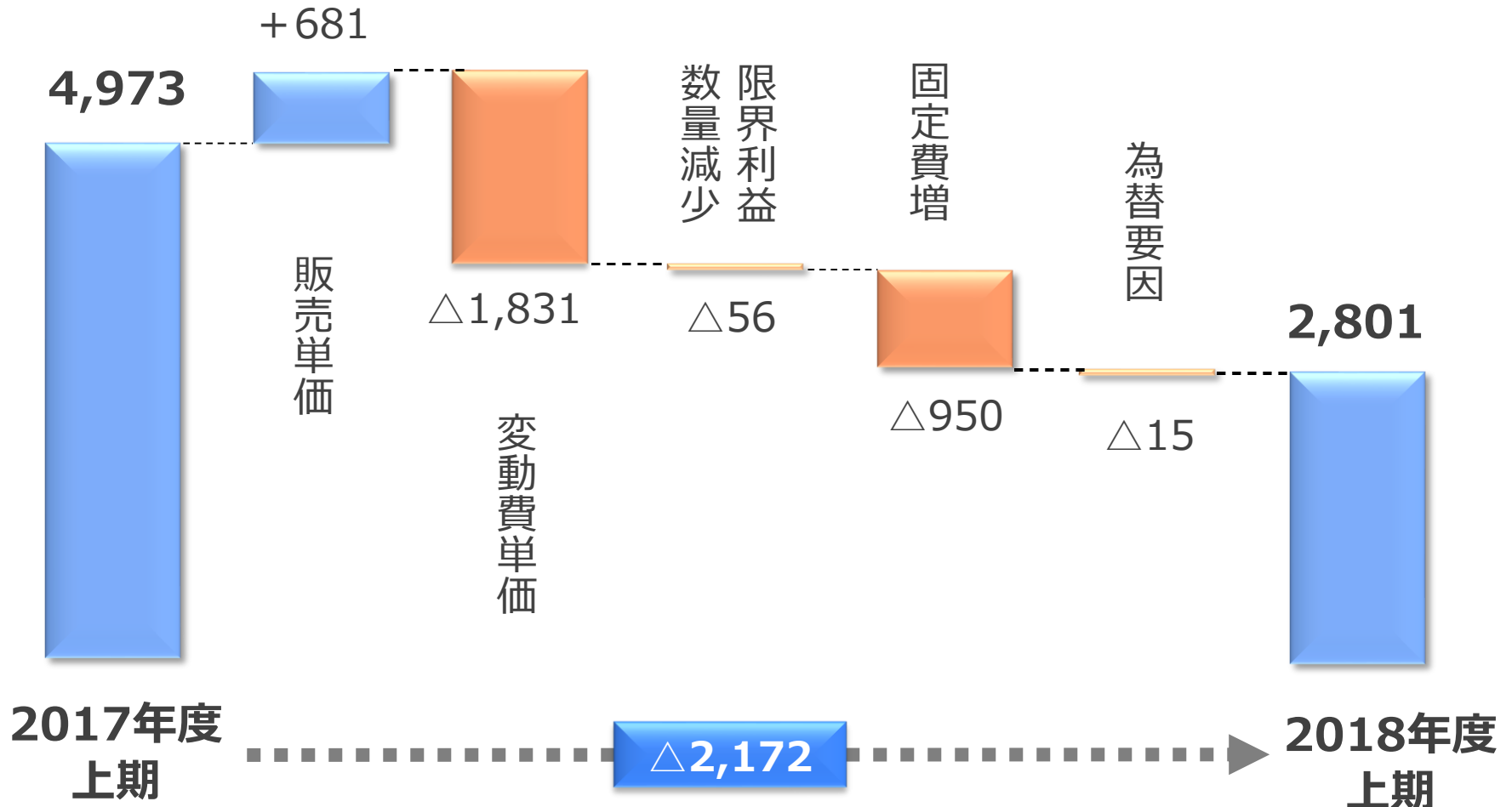
# 営業利益の増減要因

2018年度上期補足

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

(単位：百万円)



利益差異は、2017年度実績の為替レートを用いて計算

# 19 営業外損益・特別損益

2018年度上期補足

JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

## 営業外損益

科目 (単位：百万円)	2017年度 上期	2018年度 上期
受取利息	87	<b>104</b>
持分法による投資利益	2	-
その他	147	<b>228</b>
<b>営業外収益合計</b>	<b>237</b>	<b>333</b>
支払利息	53	<b>75</b>
為替差損	154	<b>7</b>
持分法による投資損失	-	<b>7</b>
その他	43	<b>45</b>
<b>営業外費用合計</b>	<b>251</b>	<b>135</b>

## 特別損益

科目 (単位：百万円)	2017年度 上期	2018年度 上期
固定資産売却益	22	<b>12</b>
<b>特別利益合計</b>	<b>22</b>	<b>12</b>
固定資産売却損	8	<b>0</b>
固定資産除却損	41	<b>34</b>
<b>特別損失合計</b>	<b>49</b>	<b>35</b>

年度 (単位：百万円)	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2018年度上期末	126,455	83,554	62.8%	2,663円49銭
2017年度末	125,270	84,105	63.5%	2,667円72銭

(参考) 自己資本 2018年度上期 79,397百万円  
2017年度末 79,524百万円

## 【主要な日本円への換算レート】

通貨	US\$	€	RMB
2018年6月末	110.5	127.9	16.6
2017年12月末	113.0	135.0	17.3
前期比	97.8%	94.7%	96.2%

科目 (単位：百万円)		2017年度末	2018年度 上期末	増減額
資産の部	流動資産	67,157	<b>66,283</b>	△873
	固定資産	58,113	<b>60,172</b>	2,059
資産合計		125,270	<b>126,455</b>	1,185
負債の部	流動負債	33,145	<b>33,934</b>	789
	固定負債	8,019	<b>8,966</b>	947
	負債合計	41,164	<b>42,901</b>	1,736
純資産の部	株主資本	78,700	<b>80,334</b>	1,634
	その他包括利益累計額	824	△ <b>936</b>	△1,761
	非支配株主持分	4,581	<b>4,156</b>	△424
	純資産合計	84,105	<b>83,554</b>	△551
負債純資産合計		125,270	<b>126,455</b>	1,185

科目 (単位：百万円)		2017年度末	2018年度 上期末	増減額
株主資本	資本金	10,128	<b>10,128</b>	—
	資本剰余金	13,405	<b>13,435</b>	29
	利益剰余金	56,551	<b>58,156</b>	1,605
	自己株式	△1,385	△ <b>1,385</b>	△0
	合計	78,700	<b>80,334</b>	1,634
その他の包括 利益累計額	その他有価証券評価差額金	244	<b>299</b>	54
	為替換算調整勘定	△483	△ <b>2,300</b>	△1,817
	退職給付に係る調整累計額	1,062	<b>1,063</b>	0
	合計	824	△ <b>936</b>	△1,761
非支配株主持分		4,581	<b>4,156</b>	△424
純資産合計		84,105	<b>83,554</b>	△551

# キャッシュフロー 設備投資額・減価償却費・研究開発費

2018年度上期補足

JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

## キャッシュフロー

年度 (単位：百万円)	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2018年度上期	3,286	△5,297	943	9,358
2017年度上期	3,220	△3,435	276	8,029

## 設備投資額・減価償却費・研究開発費

年度 (単位：百万円)	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2018年度上期	5,717	2,715	1,052
2017年度上期	3,670	2,506	1,047

(注) 設備投資額はキャッシュベースであります。

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

株式会社 J S P

お問合せ Tel 03-6212-6306 広報 IR室